

スリルと笑いにあふれた
アイリッシュ・エンターテインメント・ムービー誕生！

マイケル・リンチ、職業II強盗。人の心まで盗む天才

『アメリカン・ビューティー』 ケヴィン・スペイシー
『メン・イン・ブラック』 リンダ・フィオレンティーノ
ピーター・ミュラン ヘレン・バクセンデール

『アメリカン・ビューティー』 ケヴィン・スペイシー
『メン・イン・ブラック』 リンダ・フィオレンティーノ
ピーター・ミュラン ヘレン・バクセンデール

私が愛した ギャングスター

私が愛した ギャングスター



ICON ENTERTAINMENT INTERNATIONAL PRESENTS A LITTLE BIRD PRODUCTION IN ASSOCIATION WITH TATFILM AND TRIGGER STREET PRODUCTIONS A FILM BY THADDEUS O'SULLIVAN
KEVIN SPACEY / LINDA FIORENTINO / PETER MULLAN AND STEPHEN DILLANE 'ORDINARY DECENT CRIMINAL' HELEN BAXENDALE / DAVID HAYMAN / PATRICK MALAHIDE /
GERARD McSORLEY / CASTING DIRECTORS: ROS AND JOHN HUBBARD / ORIGINAL SCORE COMPOSED BY DAMON ALBARN / COSTUME DESIGNER: JANE ROBINSON / PRODUCTION DESIGNER:
TONY BURROUGH / EDITOR: WILLIAM ANDERSON A.C.E. / DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY: ANDREW DUNN B.S.C. / CO-PRODUCER: MARTHA O'NEILL / EXECUTIVE PRODUCERS:
JAMES MITCHELL AND CHRISTINE RUPPERT / SCREENPLAY BY GERARD STEMBRIDGE / PRODUCER: JONATHAN CAVENDISH / DIRECTED BY THADDEUS O'SULLIVAN
PRODUCED IN ASSOCIATION WITH MIRAMAX FILMS BORD SCANNAN NA HEIREANN / THE IRISH FILM BOARD THE GREENLIGHT FUND FILMSTIFTUNG NRW ©1999 Unicorn Distributors Limited

第13回東京国際映画祭特別招待参加作品/ケヴィン・スペイシー、リンダ・フィオレンティーノ、ピーター・ミュラン、ステイブ・ディレン、ヘレン・バクセンデール、
デイヴィッド・ハイマン/監督:サディウス・オサリヴァン「ナッシング・パーソナル」/プロデューサー:ジョナサン・カヴェンディッシュ/オリジナル・スコア・コンポーザー:
デーモン・アルバーン/1999年/イギリス・アイルランド合作/カラー/シネマスコープ/ドルビーSRD/上映時間1時間35分/オリジナル・サウンドトラック:イーストウエスト・
ジャパン/ノヴェライズ:角川書店/後援:アイルランド大使館/協力:JAL/配給:アミューズピクチャーズ <http://www.amuse-pictures.com>

ケヴィン・スペイシーが挑む伝説的強盗団のボス! 最高にスリリングなアイリッシュ・エンターテインメントの快作が誕生!!

以前、“ルパン三世”と“不二子”が所帯を持ったらどんな痛快なストーリーになるだろう?…と考えた。なんの事は無い。あっさり先にやられてしまった。すべての答えがここにあったのだ! — モンキー・パンチ(漫画家/「ルパン三世」作者)

アカデミー主演男優ケヴィン・スペイシー最新作!

「アメリカン・ビューティー」で2000年のアカデミー主演男優賞を獲得、今や乗りに乗っているアメリカの人気スター、ケヴィン・スペイシーが、今度は愛すべきギャングスターに扮した本格的アイリッシュ・エンターテインメント・ムービーに登場。今、いちばん魅力的な男優が、最高にスリリングな役に挑んだオスカー受賞後の初主演作だ。

舞台はアイルランドの街ダブリン。スペイシー演じるマイケル・リンチは、天才的な直感を持つ強盗団のボス。知的なセンスでマスコミや世論を味方につけ、スマートに犯罪をやっている。そんな彼の目的は金ではなく、挑発的な態度で世間をひっかきまわすこと。スリルこそが、リンチの生きがいなのだ。警察は神出鬼没の大泥棒を血まなこで追うが、いつも、絶対につかまらない。

仕事は超プロフェッショナルのリンチなのだが、家に帰れば優しきマイホーム・パパに変身! ふたりの妻(?)とたくさんの子供たちに惜しみない愛情を注ぎ、穏やかな笑顔を見せる。こんな彼の新しい仕事のヤマは、カラヴァッジオの絵画「キリストの逮捕」の強奪。美術館に観光客のふりをして忍び込み、見事、目的の名画を手に入れるが、この事件を契機に、リンチの運命は思わぬ方向へ転がり始める……。



マイケル・リンチのモデルとなったダブリンの カリスマ的ギャング マーティン・カーヒル

戦略的な知能犯で、宝石や絵画の略奪を計画し、手下のギャングを率いて大規模な犯罪を成功させるため、「ジェネラル(将軍)」という異名を持っていた、マーティン・カーヒル。絵画強奪における、彼の目的は金よりもむしろ国有財産である名画を盗み出すという行為自体にあり、窃盗事件の金字塔にしたいと考えていたようだ。証拠隠滅のために裁判所を放火したり、法廷調査官を暗殺しようとする一方で、ハトのレースや、家族を愛するという一面も持っていた。

また、素顔はほとんど見せないが、報道陣の前で服を脱いでミッキー・マウスのボクサー・ショーツを見せたり、鳥の巣を頭にのせて法廷に現れたり、なかなかのエンタティナーでもあった。

豪華なキャストとスタッフが集結!

共演はリンチの妻クリスティーンに「メン・イン・ブラック」のリンダ・フィオレンティーノ。リンチを追うクイグリー刑事に「ウェルカム・トゥ・サラエボ」のステイブン・ディレーン。リンチの対立する強盗スティヴィーに「マイ・ネーム・イズ・ジョー」のピーター・ミュラン。リンチに忠誠をつくす仲間「ジャッカール」のデイヴィッド・ハイマン。クリスティーンの子でリンチの2番目の妻となるリサに英国のテレビで活躍中のヘレン・バクセンデル。監督は「ナッシング・パーソナル」の演出が高い評価を受けたアイルランドの実力派監督サディウス・オサリヴァン。さらに、今、話題をさらっているのが、イギリス・ロック界の雄、ロック・グループ、ブラーのデーモン・アルバーンが担当したサントラ盤。日本盤が発売前から輸入CD店で大変な人気を呼び、逆に映画の公開が待たれていた。そのシャープで、現代的なサウンドが、映画のスリリングなトーンを効果的に高めている。



伝説的強盗マイケル・リンチの登場!

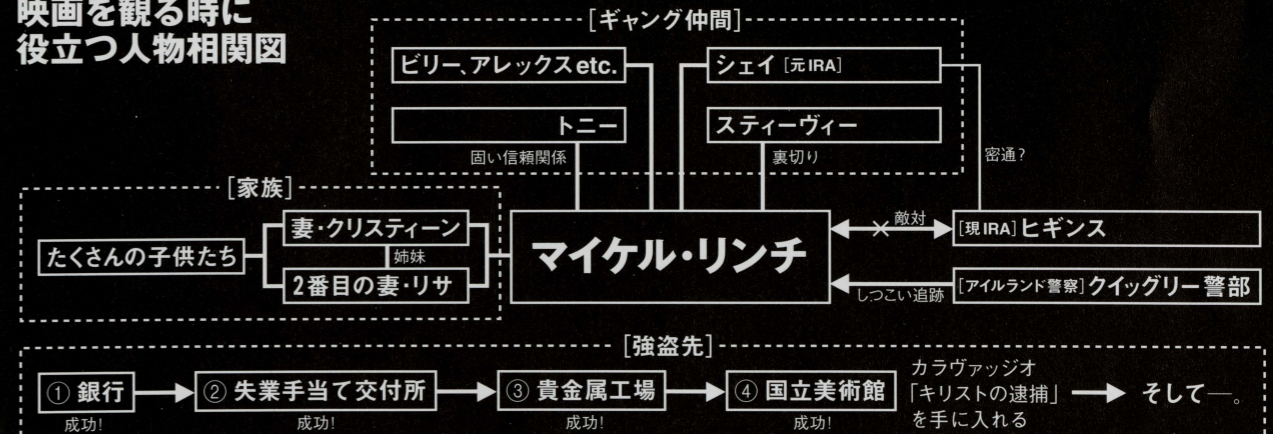
アイルランドに実在した伝説的な強盗マーティン・カーヒルをベースにしながら、さまざまなフィクションを加え、大胆不敵な新しいヒーロー、マイケル・リンチ像ができた。主演のケヴィン・スペイシーは脚本を読み、すぐに出演を承諾。「先の展開が読めない人物像がおもしろい」と主人公にほれ込んだ。裕福な人間から金や物を強奪しながら、どこか体制を挑発していく肩破りの男。そのキャラクターは日本の人気漫画「ルパン三世」を思わせ、彼を追うクイグリー刑事はまるでルパンを追跡中の銭形刑事。次元や五右衛門のように忠実な部下も登場し、峰不二子は妻クリスティーン? 実際にこの作品を観た原作者であるモンキー・パンチ氏も大絶賛している! 敵にも、味方にも、愛されまくるマイケル・リンチ=ケヴィン・スペイシーのセクシーで茶めっ気あふれる魅力。見終わった後、ステップを踏みたくなるほど爽快なエンディング。これまでのどこか暗いアイルランド映画の常識を打ち破り、誰もが楽しめるエンターテインメント快作が完成した。

「私が愛したギャングスター」関連情報

* オリジナル・サウンドトラック: イーストウエスト・ジャパンより発売中 (AMCY-7154)

* ノヴェライズ本: 角川書店より12月22日発売

映画を観る時に 役立つ人物関係図



1月6日(土)より 待望のロードショー!! (1/19(金)まで)

引き続き1/20(土)よりレイトショーにて続映! 21:00~1回上映(日曜休映) ※レイトショーの終了日は劇場へご確認ください

- 特別前売鑑賞券 1,500円 絶賛発売中! (当日一般1,800円のところ)
- 劇場窓口にてお求めの方にスペシャル・グリーティングカードをプレゼント(限定)
- 劇場窓口、阪急、阪神、エスタ1PG、チケットぴあにてお買い求めください
- 本編開映後のご入場はご遠慮ください

梅田ロフトB1 06(6359)1080
テアトル 梅田
<http://www.cinemabox.com/>
 12:45 2:45 4:45 6:45